

# 希望する全ての准職員・時間雇用職員を無期雇用に！

## 東北大学職員組合2019年度定期大会開催



2019年7月27日 現場の混乱が報告され、午後、片平キャンパス多元物質科学研究所において、定期大会が開催されました。

また財政については、

執行部から第1号議案「経過報告と運動方針」、第2号議案「2018年度会計決算報告」第3号議案「2019年度会計予算案」が提案され、全て可決されました。

無期転換争議カンパの一部を繰り入れた会計報告を行うことが提起され、後日報告することになりました。

本大会の決算・予算の報告を通して、会計収支がマイナスイタ状態であることが明らかになりました。緊縮財政を継続すること、多くの

組合員加入を実現する必要があらること、また将来的な組合体制について次期検討する方針が示されました。

大会最後に新旧役員が紹介されました(1面に掲載)。執行部の4役は留任です。

引き続き、皆様のご協力をお願いいたします。

### 「非正規職員の雇用の安定」を 国会議員、厚労省・文科省に要請

「厚労省担当者…(非正規職員の雇い止めは)とりわけ国立大学において社会問題として浮上っており、また、各地方から情報が寄せられており、大きな関心となっている。」



組合に寄せられた当事者からの声を厚労省担当者に手渡しました

報道等を見聞きしていた」とのこと。当日、帰郷中だった宮城県選出の岡本あき子衆議院議員、石垣のりこ参議院議員には、

用である目的限定職員のみなさんからご意見を寄せていただきました。わずか2日ほどの期間に40人を超える方々から寄せられた「声」を、議員、厚労省・文科省に直接届けました。ささやかな収入で必死に生活を回している中、それすらも失われることの不安、経験を積みキャリアを重ねて行くことができない理不尽さ、経験者を切り捨てることは職場にとっても大きな損失になること、真実かつ真摯な意見の数々を、今後の活動に活かしていきたいと考えています。

#### 40人の「生の声」 直接届ける！

組合は、宮城県労連とともに10月2日、国会議員、厚労省・文科省への要請を行いました。

日本共産党の宮本徹衆議院議員は、「東北大での非正規雇い止め問題をよく承知しており、関心を持って各種

要請に当たっては、准職員・時間雇用職員、さらに事実上の有期雇